

札幌芸術の森バレエセミナー2017【通訳・伴奏者のご紹介】



【通訳・フランス語】 ■上野 茜 Akane Ueno

青山学院大学文学部フランス文学科卒業。趣味で幼少よりクラシック・バレエに親しむ。パリ・オペラ座バレエ団やバレエ学校、モーリス・ベジャール・バレエ団来日公演の通訳、シルヴィー・ギエム、モニック・ルディエール、マニュエル・ルグリ、ジャン・クロード・ガロッタなどの世界のトップダンサーや指導者たちの日本での活動を支えている。ダンス関係以外にも、音楽、演劇、美術などの分野で通訳を務めている。



【通訳・スペイン語】 ■伊勢田 由香 Yuka Iseda

エコール・ド・バレエ『パック』にて畑野朋子・堀江けんいちのもと、バレエを始める。慶応大学卒業後、渡欧。ドレスデンバレエ団、オランダ国立バレエ団、ノルウェー国立バレエ団、アメリカのタルサバレエ団、マドリッドのカルメン・ロッチェバレエ団、バルセロナバレエ団で踊る。バルセロナバレエ団在籍時、アメリカツアーで監督アンヘル・コレラのパートナーとして、白鳥の湖主演。2016年度シーズンよりペンシルバニアバレエ団に移籍、すべての作品に主要な役で参加。



【通訳・スペイン語】 ■菊池 亮佑 Ryosuke Kikuchi

北海道生まれ。13歳にてバンクーバーへ渡り、Pacific Dance Artsにてクラシックバレエを学ぶ。その後2007年、渡米しMiami City Ballet Schoolに入学。2009年、メキシコCompania de Danza Clasica y Neoclasica de Jaliscoにソリストとして入団。その後、2011年から2014年までBallet de Monterreyに在籍。現在も国を問わずダンサー、バレエ講師として活動。



【伴奏】 ■蛭崎あゆみ Ayumi Hirusaki

新国立劇場バレエ団ピアニスト。小林紀子バレエシァター、新国立劇場バレエ団等を経て渡仏、ピエトロ・ガリに師事しながらパリでバレエピアニストとして活動。2006年文化庁在外研修員としてウィーン国立オペラ座バレエ団にて研修。帰国後は新国立劇場を主として様々なバレエ団でクラス、リハーサルピアニストとして活躍する。全日本バレエコンクール・アンシェヌマン部門ピアニスト。バレエレッスンCD「Music for ballet class」シリーズをリリースし、好評を得る。



【伴奏】 ■寺島朋江 Tomoe Terashima

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース(ピアノ専攻)卒。自宅でピアノを教える一方、1999年より札幌舞踊会バレエスタジオでレッスンピアニストを務めている。



【伴奏】 ■杉村友梨 Yuuri Sugimura

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。中根伸一、梅谷明、松岡昭、米田ゆりの各氏に師事。大学卒業後、バレエピアニストの活動を始める。現在、新国立劇場バレエ団、井上バレエ団、その他バレエスタジオでレッスンピアニストとして活動中。ABT日本公演に際し、ピアニストを務めた。また、井上バレエ団主宰によるブルノンヴィル講習会でもピアニストを務める。